

議会だより

にしあいづ

No.124

2014.1.27

発行：福島県西会津町議会

編集：議会広報特別委員会



- 町民のみなさん お話ししましょう 議会報告会を初開催・・・2～3
- 新たに基金を創設（12月議会定例会報告）・・・・・・・・・・・・4
- 条例改正、補正予算 ほか・・・・・・・・・・・・4～5
- 常任委員会管外調査報告・・・・・・・・・・・・6
- ここが聞きたい！一般質問 12人が登壇・・・・・・・・・・・・7
- さゆりストリートジャズオーケストラで活躍の渡邊昇二さんにインタビュー・・・14

うまくいくなるになりますように…（干支張子製作：野沢民芸）

お話ししましょう

議会報告会を 初開催



貴重なご意見をいただきました（奥川地区報告会）

11月5日から15日までの5日間で、町内5地区において議会報告会を初開催しました。報告会には合計72人の町民のみなさんに参加いただき、9月議会を中心とした議会活動の報告をさせていただきました。

また、参加いただいた町民のみなさんから議会や町に対する貴重なご意見をいただきました。

ご意見・ご提案を検討していきます

町議会では、議会報告会でいただいたご意見やご提案について、議会活性化特別委員会で次のとおり分類し、検討していくこととしました。

議会全体で 検討します

■過疎高齢化に対しての議会としての打開策
全国のモデル事業とな

るような施策を調査研究します。

■一般質問の重複質問の事前調整
質問を提出した議員間で調整及び工夫するよう要請します。

■西会津高校の存続（小中高一貫教育を含め）
西会津高校活性化対策協議会の一員として、町と一体となり取り組みます。

■保育所の整備
特別委員会の設置等も視野に入れ、将来展望も含め検討します。

■議会報告会の周知方法と今後の実施予定
多くの方に参加いただけるよう改善します。

■議会報告会での町民の意見の反映
実現に向け取り組みます。

■西会津小学校新校舎へのプールの設置
町民との意見交換や一般会議を開催し、調査研究します。

■各自治区からの町への要望の議会の取り扱い
要望書や陳情を議会に提出いただき、現地調査などを実施します。

■常任委員会
検討します

■奥川地区の定期バス運行
デマンドバス懇談会の結果報告を受け、総務常任委員会で調査します。

■奥川みらい交流館周辺の用水路等の改修
自治区や地元の意見等

を踏まえ、経済常任委員会で現地調査後に対応を検討します。

町へ要望事項を 伝えます

みなさんからいただいたご意見・ご提案の中で、次の事項については、町の計画等を聞いたうえで、町に伝えます。

■旧奥川保育所トイレの改善

■奥川みらい交流館の冷暖房設備の設置

■旧新郷小学校グラウンドへのバリエードの設置

■町道等の草木刈払等処理及び適正管理

■福祉での日本一のまちづくり

■防災行政無線の修繕

■町民と行政との懇談会をきめ細かに実施するよう働きかけ

■流雪溝の水量配分

その他の詳しい内容等は、町ホームページの議会のページに掲載していますのでご覧ください。

町民のみなさん



新郷地区



群岡地区



尾野本地区



野沢地区

議会報告会に関する参加者アンケート（提出者60人）

【問1】お住まいの地区は？

野沢 10 ・ 尾野本 18 ・ 群岡 10 ・ 新郷 10 ・ 奥川 12

【問2】年齢は？

10代 0 ・ 20代 0 ・ 30代 0 ・ 40代 1 ・ 50代 5
60代 31 ・ 70代 20 ・ 80代以降 1 ・ 回答なし 2

【問3】性別は？

男性 54 ・ 女性 6

【問4】議会報告会は何でお知りになりましたか？（複数回答可）

開催案内通知 27 ・ 議会だより 17 ・ ホームページ 3
ケーブルテレビ 15 ・ 議員、知人から 9 ・ その他 3

【問5】今回の報告会をどう感じましたか？

（1）開催時期

良い 44 ・ 悪い 6 ・ どちらともいえない 7 ・ 回答なし 3

（2）時間帯

良い 47 ・ 悪い 7 ・ どちらともいえない 3 ・ 回答なし 3

（3）開催場所

良い 51 ・ 悪い 3 ・ どちらともいえない 2 ・ 回答なし 4

（4）内容

良い 30 ・ 悪い 2 ・ どちらともいえない 9 ・ 回答なし 19

【問6】議会報告会の評価についておたずねします。

評価する 31 ・ 評価しない 3 ・ どちらともいえない 9
回答なし 17

【問7】その他、本日の感想や議会に対するご意見、ご提言等を記入してください。（一部抜粋）

- ・ もっと開催を増やし、身近な議会となってください。
- ・ 参加者が少なく残念だった。
- ・ 質疑応答の時間をもっととってもらいたい。
- ・ もう少し事前の啓発活動を盛んにし、一層有効な開催にすべき。
- ・ 要望に対して返事が欲しい。
- ・ 福祉の町で日本一の町を作しましょう。
- ・ 多くの議員の人たちにも意見を聞けるような進め方を望む。
- ・ 一般質問が重複しないようにしてほしい。
- ・ 女性、若者の意見の場にしてほしい。
- ・ 若い人が残れるような環境づくりをしてほしい。
- ・ 時間が足りない。
- ・ もっと多くの参加者の話を聞く進め方を。
- ・ 住民側も意見要望を出すだけでなく、自分たちは何ができるか、自立することも必要であると思う。
- ・ 町民を集めるのではなく、議員が出向いて町民と対話し、問題を浮き彫りにしていただきたい。

新たに基金を創設

地域の元気臨時交付金事業基金

12月議会
定例会



西会津小学校新校舎に期待!!

平成25年12月議会定例会を12月6日から11日まで、6日間の会期で開きました。

町から提出された議案は、条例の制定や一部改正、一般会計等補正予算、財産の取得、固定資産評価審査委員会委員の選任の同意など19件で、すべての議案を全員賛成で原案のとおり可決しました。

一般質問では、12人の議員が登壇し、町の考えや対応を問いただきました。

条例改正

公共施設整備の財源として

地域の元気臨時交付金事業基金を創設

平成24年度の国の緊急

経済対策事業で交付され

た地域の元気臨時交付金

を基金として本年度に一

旦積立てし、平成26年度

に実施する公共施設等の

整備に要する経費の財源

として取り崩して活用す

る特定目的基金を創設す

る条例を制定しました。

【質疑】

荒海清隆議員

具体的な使い道は。

総務課長

西会津小学校グラウン

ド・ビオトープ※の整備、

給食センターの厨房機器

の更新、送迎用マイクロバスの購入の3点である。

長谷沼清吉議員
緊急経済対策であれば、
早急に使用すべきと思う
が、事業が最終年度に
なった理由は。

総務課長
交付金額の決定が今年
度になったためである。

三留正義議員

交付金の使用にある程
度の自由裁量はあるか。

総務課長
国に提出した計画の事
業に限定される。

学校施設と体育施設の
使用料をそれぞれで設定

学校長が管理する学校
施設と教育委員会で管理
する廃校となった旧学校
施設について、今までは
その使用料などを一つの
条例で定めていましたが、
小学校の統合に伴い旧学
校施設が増えたこと、旧
奥川小体育館が奥川みら
い交流館の一部になった
ことなどを契機に、学校
施設と旧学校施設を体育
施設として、その使用料
などを定める条例をそれ
ぞれ制定しました。

また、今まで使用料の
規定のなかった運動場
(グラウンド)の使用料
も設定しました。なお、

【質疑】
多賀剛議員
使用料を徴収したケー
ス。
教育課長
今まではない。

清野佐一議員
各施設の使用頻度は。
教育課長
施設により使用頻度
には違いがある。

渡部憲議員
団体、個人同じ金額か。
教育課長
1回の使用にかかる使
用料であるので、人数は
関係ない。

五十嵐忠比古議員
施設を壊した際の弁償
の判断は。
教育課長
自己申告により、教育
委員会が判断する。

(※)ビオトープとは…地域在来の昆虫などの生物の小生活圏として設けられた草地や池などの空間のこと

条例改正

町税以外の延滞利息割合を引き下げ

関係する7条例を一括で改正

国の平成25年度税制改正に伴い、6月議会定例会で西会津町税条例における延滞金の割合を引き下げる改正をしたことから、町税の延滞金の割合に準じて延滞金等の規定を定めている、町税以外の町の歳入に係る条例を一括して改正しました。

今まで納期限を超えた場合、14・6パーセント（軽減措置がある場合7・3パーセント）であった延滞利息が、今回の改正により、9・3パーセント（軽減措置がある場合3パーセント）になりました。

なお、関係する条例は、西会津町税外収入金に関する延滞金徴収条例、トータルケア修学資金貸与条例、西会津町後期高齢者医療に関する条例、西会津町介護保険条例、西会津町営住宅条例、西会津町定住促進住宅条例、西会津高等学校生徒支援

修学資金貸与条例の7条例です。

【質疑】

多賀剛議員

税外収入金の延滞金の利息が下がることによる影響額は。

総務課長

この他、地方税法の一部改正に伴い、税条例と国民健康保険税条例を一部改正しました。

補正予算

基金積立金などを新規に計上

一般会計2507万1千円を増額

一般会計補正予算（第5次）は、職員の給与等の臨時特例による人件費の調整や、平成24年度国の緊急経済対策事業として創設された地域の元氣

臨時交付金事業の新規計上、さらには町道改良舗装事業や西会津小学校新築事業に要する経費の調整等により、2507万1千円を増額しました。

また、特別会計は下水

また、特別会計は下水

道施設事業、農業集落排水処理事業、個別排水処理事業、後期高齢者医療、国民健康保険、介護保険の6つの特別会計及び水道事業会計で、人件費の調整や前年度繰越金の確定による調整を行いました。

また、特別会計は下水

金が増額となっているが、対象者はどのような方で、人数はどのくらいか。

健康福祉課長

対象となる方は、妊婦とその家族、その他に希望する方であり、人数は50人である。

荒海清隆議員

園芸ハウス整備工事費の大幅な減額の要因はなにか。

農林振興課長

今年度は当初5棟の整備を予定していたが、設置予定者の個人的な都合により、2棟分が取りやめになったため、その分を減額する。

長谷沼清吉議員

ケーブルテレビ加入負担金が増額になっている。加入はほぼ100パーセントと思うが、増額の要因はなにか。

企画情報課長

今年度は住宅の新築が多かったこと、小学校の新築工事にかかる現場事務所も加入したためである。

その他

スクールバス1台を取得

群岡スクールバスを更新



安全確保のため群岡スクールバスを更新

群岡スクールバスの老朽化が進んできたことから、輸送の安全を確保するため、スクールバス1台を取得しました。

固定資産評価審査委員会委員の選任に同意

任期満了となる固定資産評価審査委員会委員について、次の3名の方を選任することに同意しました。

国へ提出しました

東京電力福島第一原子力発電所における汚染水問題の早期解決を求める意見書
提出先 衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、経済産業大臣、復興大臣

空き家等を

適正に管理

小谷村は長野県最西部に位置し、上信越高原・中部山岳国立公園に囲まれた大自然に恵まれた地域であり、本町と同様に特別豪雪地帯である。

過疎化やスキー場を中心とした観光産業等の低迷で年々空き家が増加し、住民から危険廃屋への対策等の要望が増加しているため、建築物が管理不全な状態にならないようにすることが重要であるとの認識から、「小谷村空き家等の適正化に関する条例」を制定し、平成24年10月1日に施行した。本町でも少子高齢化が進み、特に積雪期における空き家等の対策は、町民の危険回避や不安解消のためにも喫緊の課題である。

これからの

介護予防事業

魚津市は富山県の東部に位置し、蜷気楼、埋没林、ホタルイカが3大奇観として知られている。

高齢化のスピードは、富山県平均、全国平均を上回っており、高齢者を支える若い世代が減少している状況は、本町と同じである。高齢者自らが健康で活動的な生活習慣

を獲得するための意欲を高める工夫が必要として「個人の能力を維持する」「個人を支える地域づくり」など、様々な介護予防事業を展開している。

本町でも複数の介護事業所が開設されることや介護予防の効率性・実効性を高めるためにも、魚津市同様、地域包括支援センターの町直営を検討すべき時期と思われる。

芸術による

地域活性化

中之条町では2年に一度、ビエンナーレ（芸術祭）を開催し、今年9月で4回目の開催となった。町全体が芸術の場となり、町の魅力を再認識するのが目的であり、空き店舗・空き地・廃屋等が発表の場となっている。1カ月の間に30万人以上の人が訪れ、地域活性化

につながっている。

本町では、芸術村が10年目を迎え、今年は地元在住の方の絵画や映画看板などの企画展を開催するなど、芸術文化の拠点施設としての利用が図られている。公募展には180点ほどの作品が集まり、盛大に開催された。今後、町内出身の音楽家やアーティストに働きかけをして交流の場を設け、芸術の町西会津を発信していけるよう努力したい。

成功を収める

農産加工所の経営

近年、本町でも加工施設が設置され、農産加工が盛んになってきたこともあり、今後の加工所のあり方などの参考とするため、6次化で全国的に有名な「小池手造り農産加工所(有)」を研修先に選定した。

同加工所は、小ロットでも稼働可能であり、農業者の支援者であるという強い自負を持って日々の加工に取り組んでいる。現在では、31人の従業員で年商3億5千万円の売上があり、年3回のボーナスの支給はうらやましい限りである。

本町の加工施設でも今年から缶詰加工が可能となり、真空加工に加え保存性も大きく向上した。高齢化する農業者の収入増となるように、町の新たな特産品の開発と活動組織の強化育成に努められたい。

総務常任委員会

調査日：平成25年10月15日～10月17日

テーマ：空き家等の適正管理の条例等

(長野県小谷村)

介護予防と認知症高齢者支援事業

(富山県魚津市)



経済常任委員会

調査日：平成25年10月30日～11月1日

テーマ：芸術を活かしたまちづくり

(群馬県中之条町)

小池手造り農産加工所(有)の経営

(長野県飯田市)

常任委員会管外調査報告

町政のここが聞きたい 議員は問う 12人が登壇



こんな質問をしました（質問順）

○猪俣常三議員

- ①地域の活性化について
- ②医療と介護福祉について
- ③町道の整備について

○三留正義議員

- ①街路灯や防犯灯のLED化について
- ②今後の減反政策について

○渡部憲議員

- ①本町の除雪対策について
- ②本町のスポーツ振興について
- ③野沢保育所の今後のあり方について

○伊藤一男議員

- ①廃校の利活用について
- ②商工業の振興について

○長谷川義雄議員

- ①安全・安心な町づくりについて

○小柴敬議員

- ①ミネラル野菜の現状と今後について
- ②町内における街路灯・防犯灯のLED化について
- ③町道の交通安全対策について

○多賀剛議員

- ①副町長人事について
- ②「ふるさと納税（ふるさと応援寄付金）」について
- ③「婚活」の取り組みについて

○鈴木満子議員

- ①旧新郷小学校施設の活用方法について
- ②職員の雇用形態について

○青木照夫議員

- ①地域の活性化について
- ②空き家や公共施設等の利活用について

○五十嵐忠比古議員

- ①教育の振興と人材育成について
- ②ふるさと納税について

○清野佐一議員

- ①町民憲章制定について
- ②町政への取り組みについて
- ③農業の振興について

○長谷沼清吉議員

- ①保育所について
- ②デマンドバスについて
- ③地域おこし協力隊員について



絶景の飯豊連峰を臨む

問 日本で最も美しい村連合への加盟は

答 情報発信に有効な手段として検討する

猪俣 常三 議員

問 本町には自然の景観、環境、伝統文化などの資源があり、これらを活用して地域の活性化に取り組み日本で最も美しい村連合に加盟する考えはないか。

町長 日本で最も美しい村連合の加盟町村の状況を見ると、全国的にも有名な

景勝地や日本の原風景を残す町村が主である。連合への加盟は、本町の豊かな自然や観光資源を全国に発信する有効な手段として検討する。

問 旧奥川寄宿舍と旧奥川保育所の屋根のトタンの色が変色している。公共施設として修繕が必要と思うが、町の考えは

総務課長

旧奥川寄宿舍と旧奥川保育所の屋根の修繕は、金額的にも大規模な修繕であるので、実施計画の中で調整しながら、来年度以降できるだけ早い時期に修繕したい。

問 町民憲章を制定しては

答 制定に向け作業を始める

清野 佐一 議員

問 本町は、平成26年に町制施行60周年を迎える。これを機に、協働のまちづくりをさらに推進するために、町民憲章を制定し、まちづくりへの参画意欲の喚起に努めてはと思うが、考えはないか。

町長

町民憲章は、町民が「町の理想像や目標を掲

げて、それを実現するためにとるべき行動規範を示すもの」といわれている。

平成26年に本町は町制施行60周年を迎えるため、町の未来に向けた大きな飛躍をめざし、制定に向けた作業を開始する。

問 現在、日本の農業が大きな岐路に立っている。TPP交渉の問題、定額補助金減額等で農家は大きなショックを受け

ている。

今後、農家の不安解消のために、早目の情報提供や政策の実施を望むが考えは。

町長

国の方針が確定次第、チラシやケーブルテレビで情報を提供する。

農業政策は、認定農業者の育成や組織化による経営基盤の強化、消費者から求められる売れる米作り、ミネラル栽培の取り組みや6次化の推進を図る。



60周年を迎える西会津町

問 変則的な保育所運営は好ましくない

答 新たな施設整備までの対応である

長谷沼 清 吉 議員

問 保育所の運営が、来年度は変則的な運営となるが、なぜこのような結果を招いたのか。

健康福祉課長

野沢保育所の乳幼児保育の需要の増加に対応するため屋外に設置したプレハブ式ユニットハウスが建築基準法上適切でないこと、芝草保育所の入



保育所の適正な運営を

所児童数が10人を割り、保育上好ましくない環境になることから、両保育所を統合し、芝草保育所を野沢保育所の分所とすることにした。分所となる芝草保育所では、5歳児を保育するが、新たな施設整備までの対応である。

問 デマンドバスの利便性向上のためには、定期バス化は避けられない。できるところから、

できる方法で取り組むべきではないか。

町民税務課長

対象となる全ての路線を毎日運行するのか、路線ごとに曜日を決めて運行するのかなど、様々な運行方法が考えられる。いくつかの運行パターンを委託先に示し、運行にかかる経費の試算などを依頼しているところであり、結果がまとまったら実施するかしないかを総合的に判断していく。

問 街路灯と防犯灯のLED化の進展は

答 補助制度の創設などの作業を進めている

三 留 正 義 議員

問 6月議会で街路灯と防犯灯のLED化の一般質問をし、答弁は「今後十分検討していく必要がある」とのことであったが、その後、検討された方針は出されたのか。

企画情報課長

D化、街路灯の器具修繕費を総合的に支援できる町補助制度の創設などの作業を進めている。

問 ①今後の減反政策のなかで、国は基準とす

る平均的な農業集落（水田19ヘクタール、畑15ヘクタール、合計34ヘクタール）規模で所得が13パーセント増えると試算しているが、本町もこれに該当するのか。

町長

①本町の農地・水保全管理支払いに取り組んでいる活動単位で見ると、水田11・4ヘクタール、畑2・6ヘクタール、合計14ヘクタールとなっており、全国平均の半分以下の規模である。

②消費者から求められる売れる米作り、ミネラル栽培、それらを活用した6次化の推進について関係者と一体となって取り組んでいかなければならないと考えている。



野沢駅前通りのLED街路灯

問 ふるさと納税のお礼は

答 特産品の詰め合わせを贈っている

五十嵐 忠比古 議員

問 ふるさと納税は、全国各地の市町村で行われており、本町も町外在住の町出身者等から寄付金をいただいている。

他市町村では、寄附をされた方に地元特産品を贈っているケースがあるが、本町でも町特産品を贈る考えは。

総務課長

これまでもその時々、時期や季節に応じ、コシヒカリやミネラル野菜、山菜、シイタケなどを詰め合わせにしてお贈りしている。なお、特産品の



感謝の心をいっぱい詰めて

内容は、季節に応じた品物をお贈りしたい。

問 教育の振興と人材の育成について問う。

①人材育成にはどのような取り組みできたか。

②学校教育は、今後どのように考えているか。

③スポーツ団体等の人数が減少傾向にある中で、スポーツ振興策は。

教育課長

①町づくりは人づくり、人づくりは教育からの理念のもと、学校教育、生涯学習、スポーツ等を推進している。

②児童生徒に学力と人間性、社会性を身につけさせるよう指導する。

③町体育協会をはじめ、関係団体と連携し組織の強化、指導者や競技者の育成を支援している。

問 ミネラル野菜栽培への支援は

答 生産から出荷までの支援を行っている

小 柴 敬 議員

問 ミネラル野菜栽培も15年が経過しブランド化が図られたが、今後の供給不安解消のため、次の3点を問う。

①現在の出荷額は。

②後継者対策は。

③支援策は。

農林振興課長

①平成24年度は野菜の価格低迷もあり、販売

実績は8700万円であった。

②3年間の研修費の助成や研修農家の紹介、農地のあつ旋などを行っている。

③土壌分析料の補助や耐雪型パイプハウスリース事業による施設整備の支援、町専門員やJA、県による連携した指導体制や販売面でのアドバイスなど、生産から出荷までの一連の取り組みを支援している。



おいしさたっぷりミネラル野菜

問 環境や省エネ、そして電気料の軽減のため「商店街まちづくり事業」の補助を受け、街路灯をLED化する考えはないか。

企画情報課長

国の補助制度を活用するためには、商業団体等が事業主体となつて事業申請する必要があるが、町では補助制度が有効に活用できるよう、積極的に支援していく。

問 地域おこし協力隊の増員は
答 増員の検討をする

青 木 照 夫 議員

問 総務省が支援する制度に地域おこし協力隊や集落支援員があり、少子高齢化に伴い、集落機能維持には大きな力になっている。地域おこし協力隊員は二次募集までしたが、1名のままである。その要因はなにか。また増員も検討すべきではないか。



笑顔で地域おこし（地域おこし協力隊員）

商工観光課長

今年の地域おこし協力隊員の採用は、2名を募集したが1名の採用であった。その要因は、募集開始が4月になってからと他の自治体より遅かったこと、また学生の進路の決定時期と重なってしまったことが要因と考えている。来年度の募集は早期に開始し、増員の検討をしている。

問 現在、町は専門業者と協定締結し、空き家バンク事業を実施しているが、もっと積極的に推進するために専門職員の配置も必要ではないか。

商工観光課長

空き家バンク事業は、空き家の有効活用を図り、町内への移住希望者などに紹介し、交流人口の拡大と定住促進を進め、地域の活性化に寄与することを目的に推進している。様々な機会に、積極的に情報を発信し空き家の利活用が図られるよう取り組んでおり、現在のところ、専門職員の配置は考えていない。

問 商工業の振興は

答 積極的に支援事業を実施する

問 町の商工業を取り巻く経営状況は一部を除き、全体的に受注や売上等の回復が遅れており、景気の上昇がまだ実感できない状況にある。そのような中、各種支援に取り組んできたが、実施状況や次年度の支援策は。

町長

今年度、町では商工業の経営安定化に向けた各種支援事業を実施し、企業支援では現在4件、新規学卒者雇用促進事業は5人を見込んでいる。新年度は商業活性化対策として、商業活性化施設の整備に向けた実施設計業務に取り組む。

問 廃校の利活用で、

今年10月には旧奥川小学校を活用し、地区行政サービスの拠点やコミュニティの場として奥川みらい交流館がオープンし、地域の活性化を図っているが、旧尾野本小学校や旧群岡小学校の利活用計画は検討されているか。

伊 藤 一 男 議員

企画情報課長

解体したい。旧群岡小学校は、耐震補強がされておらず、不特定多数の方が利用する用途には活用できないが、農業施設などの活用は十分に可能である。

旧尾野本小学校は、耐震診断でDランクであり、建物の再利用は困難であるため、財源を確保次第



廃校舎の利活用はどうする？

問 各集会所を避難所に指定する考えは

答 一時避難所として位置付けている

長谷川 義雄 議員

問 地域住民の生命、身体及び財産を保護するため、各自治区の集会所を避難所として選定する考えはないか。

また、建物の安全性、設備等を調査する必要はないか。

町民税務課長

災害発生時には、自治区住民の安否確認が大変重要であることから、各自治区の集会所を一時避難所として位置付けている。

避難所及び一時避難所として位置付けている自治区の集会所について、立地条件を含めた安全性や設備などの調査を今後実施する。



一時避難所となる各自治区集会所

問 スポーツ振興の具体策は

答 関係団体と連携を図りながら

渡部 憲 議員

問 スポーツ振興が他町村に比べ不十分なようにも見えるが、今後どのような考えを持ち、具体策を考えているのか。

教育課長

スポーツ活動の推進・振興は、「健康がいちばん」のまちづくりを進める上でも重要な課題である。一人一スポーツの推



がんばったふくしま駅伝西会津町チーム

進とニユースポーツの促進、競技力向上のための強化、そしてスポーツ団体の育成と自主的活動の支援の3点を重点に据えてスポーツ活動の振興に努めている。今後も関係団体と連携を図りながら、スポーツの振興に努めていく。

機械と流雪溝による除雪で行うとしているが、今後、消雪施設を設置する考えはないか。

建設水道課長

野沢町内の除雪はこれまでどおりの機械による道路除雪と流雪溝による除雪をしていく。消雪施設については、どのようなものが有効か、経済性も含め検討していく。

問 野沢町内の除雪は、

問

旧新郷小学校の2階を宿泊施設にしては

答

宿泊施設としての整備は難しい

鈴木満子 議員

問 旧新郷小学校の2階を芸術大学や歴史研究関係者、地域おこし団体など、それぞれの目的に合致した利用形態を提供できる宿泊施設として整備することが、本町の地域活性化にもつながると思うが、取り組む考えは。 商工観光課長

補強に多額の事業費がかかるため、宿泊施設としての整備は難しい。 地域活性化のために、農家民宿の利用促進、新規開業を推進していきたい。

1階を歴史民俗資料館として整備すべきと思うかどうか。 教育課長



求められる古民具の展示

問 本町の婚活イベント「にしあいづde愛ましよう」も3年経過した。徐々に成果も出てきているようだが、参加者数やもっと幅広い年齢層への対応も必要ではないか。離婚経験者やシングルマザー、または40歳代から50歳代の方々への婚活も

問 副町長という職は行政の扇の要であり、大変重要なポジションであると認識している。町長は副町長職をどのように考え、どうあるべきと思われるか。また、藤城副町長の後の副町長はどうするのか。 町長

問 今後の副町長はどうするか
答 熟慮し決定する

多賀

剛 議員

必要ではないか。 商工観光課長

本町の婚活支援イベントは、これまで6回開催し、本年11月にはこの会がきっかけで結婚されたカップルも誕生した。

今年度から若者プロジェクトのメンバーや過去のイベント参加者、各種団体のみなさんなどが

ら意見やアイデアをいただいて開催したところであり、今後もみなさんのご協力いただき、内容などを検討しながら創意工夫を重ね、より魅力的なイベント内容とし、多くの独身男女の方々に参加していただけるよう事業の推進を図っていく。



婚活事業を魅力的に（昨年度ポスター）

今回は、さゆりストリートジャズオーケストラで活躍されている渡邊昇二さん（5町内）です。

—ジャズバンドを始め
たきっかけは。

15年前に情報誌ジャズワールドのオーナー内田晃一氏との出会いがきっかけで、スタッフと演奏をとおして多様な体験をしたいと考えたのがはじまりです。

内田氏によれば、1906年にサンフランシスコに上陸した黒人霊歌・ワークソングが西洋風に融合されたのが、白人ジャズのはじまり。

日本のジャズは、1912年に横浜からサンフランシスコに出航したハ



ジャズ演奏の練習を重ねる渡邊さん

プロフィール

住 所：5町内（野沢）
年 齢：67歳
家族構成：妻
趣 味：還暦野球、ゴルフ、囲碁

タノバンドによって、

「船のバンド」としてダ
ンス音楽を奏でたのがは
じまりといわれ、アメリ
カとさほど変わらない日
本のジャズエイジ。それ
はサンフランシスコ大地
震、関東大震災、太平洋
戦争と続く、国を焦土化
し多くの犠牲者を出す奈
落の道は止まることにな
かった。戦後激動の最中、
テンポの良い活気が出る
「東京ブギウギ」「銀座
カンカン娘」などが心地
良いスイングと共に電波
に乗って大流行し、復興

の兆しに拍車をかけた。
また父が戦時中に「七生
報国」を唱え家族を想い、
出兵し去って逝った弟に、
楽隊（ブラス）を組み、
断腸の思いで見送ってい
る。その時のまさかの写
真を見つけた時をいまだ
にしっかりと記憶してい
る。そんな想いから、さ
ゆりジャズバンドに関わ
ることのはじまりであり
ます。

—ご協力ありがとうございます
ございました。今後もご活
躍を期待しています。

議会の動き

日本一の議会広報に学ぶ

議会広報特別委員会では、平成25年11月6日と7日に、山形県庄内町議会の視察研修を行いました。

庄内町議会は、平成24年度全国町村議会広報コンクールで最優秀賞を受賞し、日本一の議会広報を発行している議会であり、県内外から多くの議会が広報紙編集を学びに訪れています。

庄内町議会では、
①町広報紙との違いを意識することにより、議会活動をできるだけわかりやすく表現するようにする。

②見出しでみせることを重視し、記事を読まなくても、内容がわかる見出しにする。



③小学校5年生でもわかる、読める基準に難しい言葉はわかりやすい言葉にする。

の3点に注意し、広報紙編集を行っていました。

紙面も余裕があり、非常に読みやすい広報紙で、とても参考になりました。本町議会だよりも庄内町議会のように日本一の議会広報紙とまではいきませんが、町民のみならず、愛される議会だよりとなるようにがんばります。

編集後記

今年はウマ年、新年おめでとうございます。

昨年は「八重の桜」により、会津が活気に満ちた1年になりました。

また、オリンピックの東京開催決定や「じゃえじゃえ」「おもてなし」「倍返し」「今でしょ」などの流行語が話題となりました。

町議会においても、議会基本条例の制定・施行、加えて議会報告会の開催など、大きな動き、変化のあった年でした。

本年も開かれた議会、協働のまちづくりをさらに進めるために、議会活動をしていきたいと思います。

今後とも、よろしくお願いたします。

（清野佐一）

編集委員

委員長 渡部 憲

副委員長 三留正義

委員 伊藤一男

委員 長谷川義雄

委員 清野佐一